

昔おきなわ風景探索

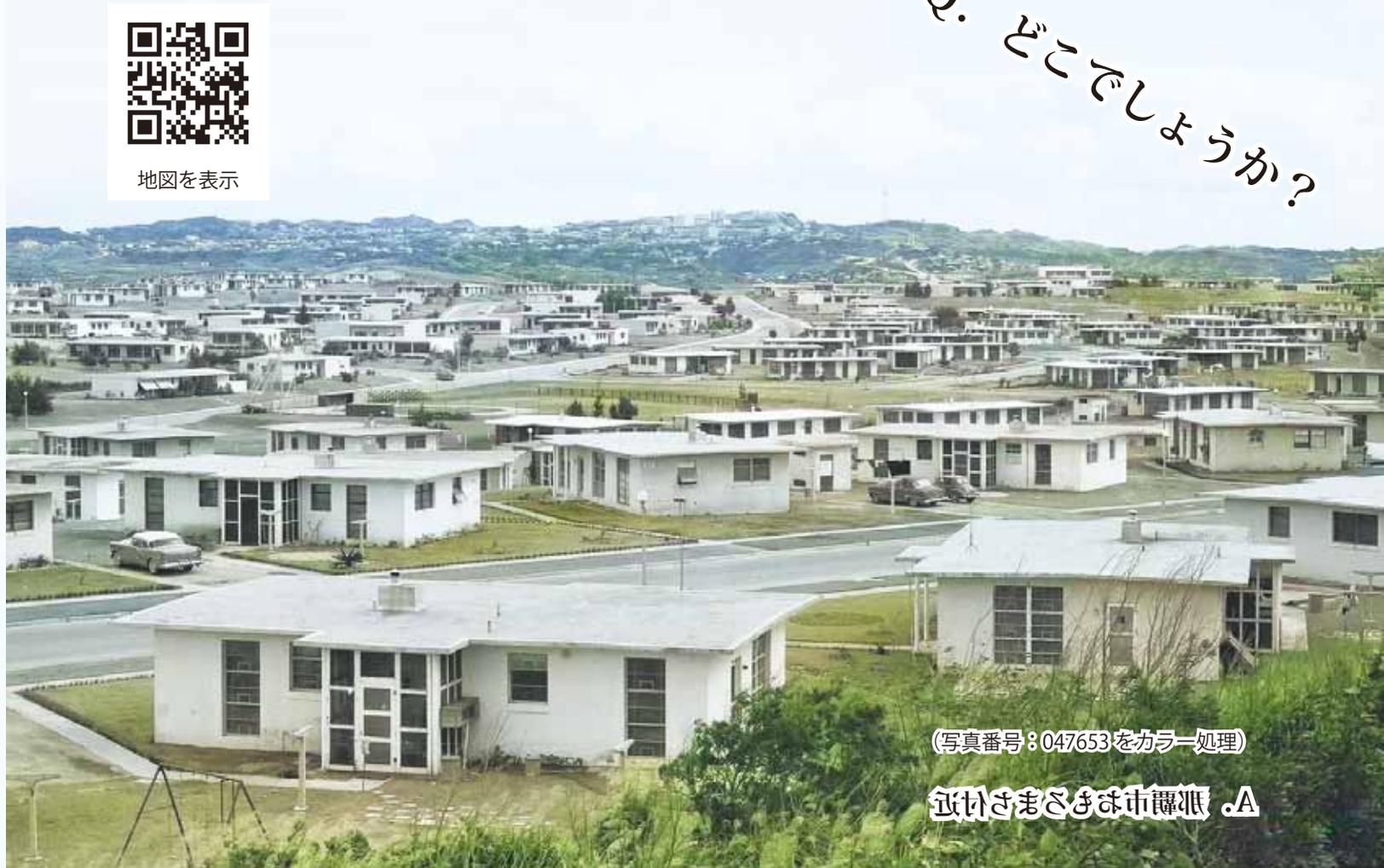
沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1961年1月



地図を表示

Q. どこでしょうか？



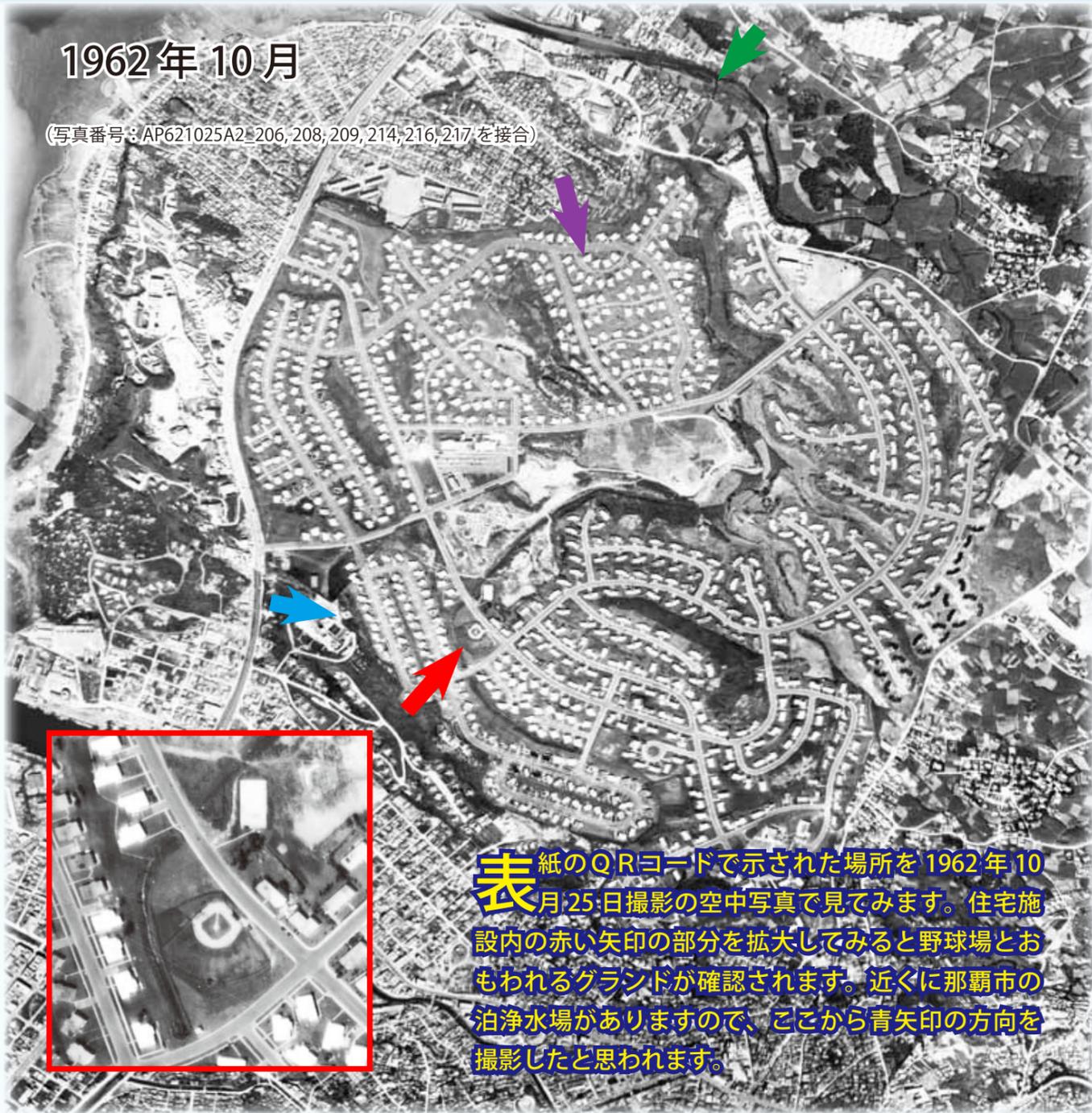
(写真番号：047653をカラー処理)

糸ヶさきさき市譚嶺 A

写真の遠景中央部には、首里にあったテレビ塔と琉球大学、首里高校と思われる建物が見えます。那覇の近くということになります。1961年頃は、現在の新都心には米軍関係者の住宅施設がありました。狭い那覇市街地と対称に、米軍住宅は広々とした敷地に建物があり、周りは芝生でおおわれ、別世界のような感じでした。琉球政府の写真ですが、政府職員でも施設内には簡単には入れません。どこから撮影したのでしょうか？ヒントになったのは背後の首里の風景と住宅地にみえる野球場（バックネット）でした。

1962年10月

(写真番号：AP621025A2_206,208,209,214,216,217を接合)



表紙のQRコードで示された場所を1962年10月25日撮影の空中写真で見えます。住宅施設内の赤い矢印の部分拡大してみると野球場とおもわれるグラウンドが確認されます。近くに那覇市の泊浄水場がありますので、ここから青矢印の方向を撮影したと思われます。

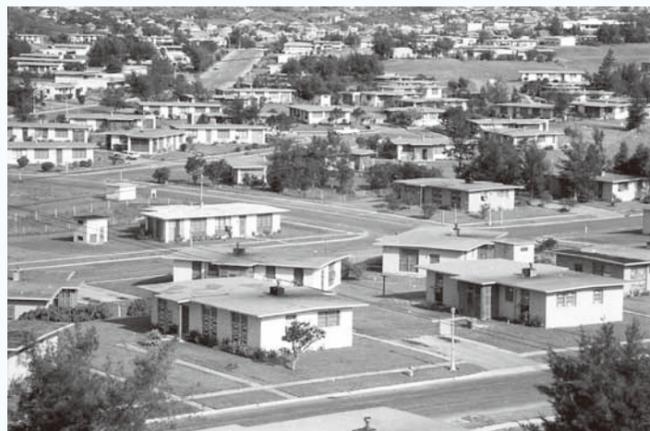


(1960年頃;写真番号:059812)

『沖縄の米軍基地』(沖縄県渉外部基地渉外課, 1975)によりますと、この住宅地は「FAC 6061 牧港住宅地区」と称され、昭和25年(1950)頃まで安謝、銘苅の住民が居住していましたが、米軍によって強制立退きさせられた、としています。表紙の写真と比較して、緑地が少ないことから、それより古い写真と思われる。背後に首里への坂道やテレビ塔がみえるので、左頁の空中写真の紫色の矢印付近から空撮したものと思われる。



①泊浄水場からみた泊港付近 (1961年) (写真番号:047654)



②住宅施設内 (1968年) (写真番号:056435)



③空中写真の黄矢印付近(安謝川)から米軍住宅方面を撮影したと思われます (1964年) (写真番号:005803)



④左側の一連の写真。安謝川下流方向 (1964年) (写真番号:005802)



⑤琉球東急ホテル（1950年頃、推定場所：地図の緑丸付近）
（資料コード：0000033549）

前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。米軍の住宅があった所は、現在の那覇市の新都心一帯になります。地図上の赤、青、紫、緑の矢印は空中写真とほぼ同じ位置になります。薄緑丸の位置には右写真のようなホテルがありました。

昔おきなわ風景探索 No. 2

発行日：令和6年（2024）10月25日
 編集執筆：当山昌直（1951年生）
 発行：（公財）沖縄県文化振興会 公文書管理課
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内
 電話 098-888-3875（代表）FAX:098-888-3879

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

